

北港テクノポート線事業フレームについて（現計画）

咲洲—桜島（全体）

◎インフラ部事業フレーム

港湾整備事業（補助事業） 582億円		埋立事業者分担経費 558億円	インフラ相当部分
国費 291億円	市費 291億円	臨海債 558億円	1,140億円

◎会社事業（OTS）事業フレーム

出資金 126億円	転貸債 402億円	借入金 101億円	開発者負担金 101億円	OTS会社事業費 730億円
--------------	--------------	--------------	-----------------	-------------------

（合計：1,870億円）

咲洲—夢洲事業費内訳

○インフラ部 残事業費

国費
市費一般会計
埋立事業

250億円 ※既支出額 444億円

64億円
64億円
122億円

540億円

国費 64億円
市費一般会計 64億円
埋立事業 202億円
OTS 210億円

○上物部 (OTS事業部)

290億円

出資金 40 80億円（埋立事業）
開発者負担金 40
OTS 210億円（民間出資金10億円含む）

夢洲—桜島 事業費内訳

○インフラ部

国費
市費一般会計
埋立事業

446億円

114億円
114億円
218億円

886億円

国費 114億円
市費一般会計 114億円
埋立事業 340億円
OTS 318億円

○上物部 (OTS事業部)

440億円

出資金 61 122億円（埋立事業）
開発者負担金 61
OTS 318億円（民間出資金25億円含む）

大阪港埋立事業

キャッシュフローの概算（H30年度予算）

（億円）

収益的収入	90
内、土地売却収入	38
内、土地賃貸収入	44
<hr/>	
収益的支出	75
内、一般管理費	13
内、一般会計操出し （三セク債償還）	26
純利益	15
<hr/>	
現金支出の伴わない費用	
土地原価	29
減価償却	1
	45
資本的収支	
企業債収入等	13
企業債償還等	△ 59
埋立事業費	△ 21
差引資金不足額	△ 22